

## マンモグラフィの紹介

### マンモグラフィとは

乳房のエックス線撮影のことをマンモグラフィといいます。乳房は柔らかい組織でできているため、専用のエックス線装置を使い均等に圧迫して撮影します。

### 撮影方法と時間は・・・？

メガネやネックレスをはずして、上半身裸になっていただきます。制汗スプレーをつけている方はよく拭き取ってください。装置の上に乳房をのせ、圧迫板で乳房を均等に圧迫して撮影します。片方の乳房につき2方向の撮影を行います。必要に応じて、スポット撮影・拡大スポット撮影を追加します。撮影全体にかかる時間は15～20分程度です。



### なぜ圧迫するの？

乳房は立体的な形をしているため、そのまま撮影すると乳腺との重なりで病変が隠れてしまうことがあります。そこで撮影の際に、乳房を薄く広げ透明な板で均等に圧迫します。乳房の厚みを薄くすることで、触診では見つけることが難しい微小な病変が描出しやすくなり、被ばくも少なくすることができます。このように、圧迫は診断に必要な良い画像を得るためとても重要です。圧迫により痛みを伴うことがあります。体力を抜いて息を吐いてみてください。どうしても我慢できないときは遠慮なく申し出てください。圧迫する時間を最小限にするよう努力しておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

### 乳房撮影を受ける最適な時期は？

乳房はホルモンの影響により、排卵後から月経が始まる頃まで張ったり痛みを感じたりします。この時期でも検査に支障はありませんが、この時期を避け、乳房が柔らかい時期に検査を受けると圧迫による痛みが少なくなります。

### 被ばくについて

エックス線を使った撮影ですので放射線被ばくがあります。1回の検査で乳房が受ける放射線の量は、東京からニューヨークへ飛行機で行く時に浴びる自然放射線の量の半分程度といわれています。撮影は乳房だけの部分的なものですので放射線による発がんや白血病などの心配はありません。

### 当院の装置と取り組みについて

当院は、2010年に最新式デジタルマンモグラフィ装置を導入しました。様々な画像処理が可能で、高い診断能を持っています。マンモグラフィは非常に高度な撮影技術と精度管理が求められます。我々職員は読影会を開催するなど、日々知識と技術の向上に努めています。撮影は、基本講習プログラムに準じた講習会を終了した診療放射線技師が行っています。



使用装置

(GE社製 senographDS)